

金城

## ヨシヒデだより

第18号

平成19年5月22日  
発行者 金城 善英  
住所 名護市大中1-15-19 203  
Tel 0980-54-1259  
E-mail yoshihide@tontonme.ne.jp

ごあいさつ



若夏の木々や草花に心が癒される今日この頃、みなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

去つた4月22日投票の参

議院補欠選挙において公明

党・自民党推薦の島尻安伊子

氏が「沖縄県を子育て先進県にしたい」、「台所から政治を変えたい」と訴え、県民の皆様の力強いご支持、ご支援で初当選できました。心から感謝を申し上げます。国政においては、生活者や子育て世代の視点で活躍されることを期待したいと思います。

来る7月22日(予定)はいよいよ参議院議員選挙本選であります。比例区とおやま清彦沖縄県で11万票獲得を目指し全力で頑張る決意でござります。

皆様方のますますのご健康

とご多幸を祈念申し上げます。

## 議会報告

第146回名護市定例会(3月定例会)は、平成19年3月1日から3月23日までの会期で行われました。平成18年度名護市一般会計補正予算案(第5号)、平成19年度名護市一般会計予算案を含む、市長提出議案39件、報告1件、同意1件、意見書案3件、議員提出決議案1件、陳情8件(うち1件は休会中に審査)が提出され審議されました。審査の結果につきましては、「なご市議会だより」第61号(6月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

## 3月定例会一般質問から

## 要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

## 一、中心市街地活性化について

**質問** 北部地域の中核都市として歴史、文化、経済、産業などの中心としてにぎわった中心市街地の活性化は当該地域住民のみならず多くの市民の長年の懸案でもあり、大きな期待があると思いますが、本市の重点プロジェクトである「中心市街地の活性化」で(1)まちなか市営住宅の整備(2)市場周辺整備(3)十字路交流広場の整備(4)名護漁港水産物直販所(5)コンパクトな都市の形成(6)公園・緑地の整備などが挙げられております。比率区とおやま清水の形成で頑張る決意でござります。

答弁 まちなか市営住宅については、平成18年度は基本設計、計画を進め、平成19年度に実施設計、平成20年度から建設工事の執行を考えております。規模と計画については、約50戸程

## 二、農業行政について

**質問** 都市住民と農村の交流や活性化を図る施策の一つに「市民農園」の開設が考えられるが、形態について

度、6~7階建て、1LDK, 2LDK, 3LDK の3タイプで多様な世帯向けの対応を考えています。市場周辺地区の再整備については、平成18年度の北部振興対策事業を活用して「食文化発信拠点」の導入も含めて調査事業を実施しているところです。現在の市営市場のあり方、再整備の検討、地区的業種、業態の再編、「食の魅力」をテーマとしたにぎわいを誘発する新たな商業機能の導入検討、パティオや駐車場の整備等による買い物、利便環境向上に向けた検討を進めています。十字路交流広場の整備については、四つのそれぞれの区画に約400から600平方メートルの交流広場を整備予定でその後背地への民間活力の誘導を図るもので、現在、平成19年度の北部振興事業として新規採択を進めているところです。名護漁港水産物直販所の整備については、平成17年度に水産物直販所等整備計画策定調査を実施してきました。平成19年度に実施設計、平成20年度に建設の予定です。コンパクトな都市の形成については、少子高齢化社会への対応と多様な都市機能を充実させることにより、高齢者などが車に頼らなくとも歩いて暮らせる環境づくりが重要と考えております。また、定住人口の確保と産業振興や商業等、地域経済の活性化が実現できるものと考えております。公園緑地の整備については、新たな都市公園の整備は事業コストの面からも非常に困難なものでありますが「名護十字路交流広場整備計画」、あるいは中心商業基盤の整備を進める中でオープニングベースを確保し、樹木等による緑地を取り入れることを進めていきたい。ユニバーサルデザインあるいは電線の地中化、安全対策などについてお伺いします。

**質問** 都市住民と農村の交流や活性化を図る施策の一つに「市民農園」の開設が考えられるが、形態について

通つて利用する「日帰り型」、農村に滞在しながら農園を利用する「滞在型(クラインガルテン)」などがあり、教育や福祉、医療などにも役立てられるといわれております。開設について見解をお伺いします。

**答弁** 県内8市町村で「日帰り型市民農園」の開設がなされおり、いずれも市民からの開設要望を受け展開していますが、賃貸借後の耕作放棄地が新たに発生するなど運営維持管理面に各市町村苦慮している状況も見受けられます。「滞在型市民農園(クラインガルテン)」については、今後の社会情勢を見極めながら、市の土地利用計画やライフライン、財政状況等々検討する必要があります。

**市長答弁** 私も常々市民農園を開設したらどうかと考えております。「日帰り型市民農園」「滞在型市民農園」という形の提案があり、これから迎える団塊の時代において、時宜を得た施策ではないかと思つております、できる方向で進めていきたい。

### 三、教育行政について

**質問(1) いじめ問題への対応、相談体制について**

**答弁** 学校教育における取り組みでは、①いじめは絶対に許されない行為であることの指導の徹底②いじめに対し早期発見、早期対応ができる学校内の体制づくり③日常の未然防止に努めている④学校のあらゆる活動における「心の教育」の充実に努めている⑤連携及び環境の醸成を図っている。教育委員会における取り組みでは、①関係機関との連携により問題解決を図るサポートチーム等の取り組みの推進②学校との連携を密にしながら状況把握を行い、課題解決に向けた具体的な方策について学校に指導助言を行う③いじめの防止に関する授業充実など学校の取り組みを推進④道徳、学級活動等において人権教育、いじめの防止に関する指導を充実するよう働きかけをおこなっている⑤いじめの未然防止や的確な対応について指導資料を作成し、教員研修を充実させ教員の資質向上を図つて

ます。

### 四、道路行政について

(名護市会議録をご覧下さい)

いる。相談体制の状況については、①学校との連携を密に取りながら状況把握を行い、課題解決に向かって具体的な方策について学校に指導助言を行つておる②市教育研究所に教育相談員、臨床心理士を配置し相談活動を行つておる③沖縄県より小学校2校、中学校7校にスクールカウンセラーが配置され養護教諭や学級担任と連携を図りながら相談活動を実施している④東江小学校に子どもと親との相談員が配置されており、家庭訪問や保護者との相談活動を行つておる。平成19年度からは拠点校を5校設け、そこに相談員を配置していく計画になつております。

### 質問(2) 放課後子どもプランの創設について

**答弁** 設置についての3条件があり、活動場所が基本的に小学校である、学習を行う退職教員の人材の確保でいわゆる教職員免許を持っている、開設日数が240日を目指す。財源負担を国三分の一、県三分の一、市町村三分の一という負担区分である。

名護市教育委員会においては、新年度は学校、行政、地域の方々、それから学童クラブ、社会教育や児童福祉関係者による運営委員会を立ち上げていただき。

い。そのことによつて放課後児童健全育成事業を実施する福祉部と連携を図りながら具体的なプラン作成に取り組んでまいりたい。

### 質問(3) 就学前教育の充実について

**答弁** 平成19年度からプロジェクトチームを立ち上げ認定子ども園の取り組みについて検討を進めています。

沖縄の心で世界  
とおやま清彦

参議院議員(比例区)  
二期目に挑む!

やさしく、深く、面白く、役に立つ  
政治を毎日わかりやすくお伝えする  
**公明新聞**を読んでみませんか?  
日刊(1ヶ月 1,835円/税込)  
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。  
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

### 無料法律相談のご案内

#### 公明党無料法律相談

日 時 每週土曜日 午後1時から午後5時まで

場 所 公明党沖縄県本部 (098-862-0210)

(最終土曜日は沖縄市の金城ツトム事務所 098-921-1000)

#### 法テラスコールセンター

電 話 0570-078374 平日午前9時~午後9時まで  
土曜日午前9時~午後5時まで

#### 名護市無料法律相談

日 時 每月第2、第4火曜日(祝祭日は繰り下げる開催)

場 所 名護中央公民館第4研修室

受付時間 12:00~13:00 相談時間 13:00~16:00

問い合わせ先 名護市役所市長室 (0980-53-1212)

#### 消費者無料相談室 (毎週木曜日 10:00~16:00)

場 所 名護中央公民館第4研修室

